RACE SUMMARY

2026 年 11 月 21 日（土）
SUPER FORMULA 第 11 戦 予選・決勝
鈴鹿サーキット

予選結果

#64：14 位
#65： 5 位

決勝結果

#64：リタイア
#65： 9 位

・2026 年シーズン最終大会の 1 戦目となる第 11 戦
・公式予選は佐藤蓮が Q1 でノックアウトされたが、イゴール・オオムラ・フラガは Q1 を 2 番手で通過し、Q2 では 5 番手を獲得
・決勝では佐藤がマシントラブルによりリタイア
・フラガはスタートでポジションを落とし、ピットイン時のアンセーフリリースのペナルティを受けて 9 位フィニッシュ

コメント

総監督：中嶋 悟
「どちらもうまくいかないレースになってしまいました。明日に向けて気持ちを切り替えて、最終戦を悔いなく戦いたいと思います」

監督：伊沢 拓也

「イゴール選手は予選で 5 番手でした。本人のアタックもマシンの感触も良かったのですが、ライバルがそれ以上に強かったという印象です。決勝ではウォームアップに苦戦してスタート直後にポジションを落としてしまいましたが、タイヤ交換後はペースも良かったです。アンセーフリリースを取られてしまったことは残念ですし、申し訳ない思いもありますが、あのピットアウトは攻めざるを得ない場面でした。メカニックのミスではなく勝負に出た結果なので、ペナルティを受けたことは反省すべきですが、しっかりと戦ったという部分は大事にしたいです。佐藤選手に関しては伸び悩んでいる印象でしたが、決勝に向けてエンジニアから上がった提案がいい方向に向かっているように見えたので期待していました。しかし、思わぬマシントラブルでリタイアになってしまい、申し訳ないです。数周しか走れてはいないのですが、いい手応えはあったようなので、明日はそれを証明するレースにしたいです。2 台そろって今日以上の内容と結果を出して、シーズンをいい形で締めくくれるようチーム一丸で頑張っていきます」

#64：佐藤 蓮

「金曜日のフリー走行からあまり調子が良くなかったのですが、予選でそれを立て直せず、Q2 に進むことができませんでした。数戦前から悩まされている症状があって、それが不調の原因なのですが、シーズン終盤まで原因が分からずに来てしまいました。今日の予選後、ようやく『これじゃないか』という箇所が見つかり、決勝に向けてチームが急ピッチで作業してくれて、かなり改善されたデータが出ていたのでとても期待していました。それだけに、突然エンジンが吹けなくなってしまい、ピットに戻らざるを得なくなったのは非常に残念です。ただフィーリングはとても良かったので、明日の最終戦には期待しています。明日も頑張ります」

#65：イゴール・オオムラ・フラガ

「スタート自体は悪くなかったのですが、タイヤのウォームアップが万全ではなく、飲み込まれる形になってしまいました。昨日のフリー走行でも予選でもそうなのですが、今週はタイヤのウォームアップが課題です。レースの序盤数周は苦しかったのですが、その後は割といいペースで走ることができたので、そこは良かったです。ネガティブな

部分をどうケアしていくか、明日に向けてまだまだ考えなければいけません。ただ、予選順位が上がればもっとクリーンエアの中で走れるし、ペースも上がると思います。レース展開としてもいい位置を保てるようになると思うので、明日はまず予選で今日より上のポジションを得られるよう頑張ります」

※明日（22 日）は第 12 戦の公式予選が 9 時 15 分から行なわれます。